

IT三羽鳥もあと1羽・・・

東証マザーズ (Market Of The High-growth and EmERging Stock) は、大証のナスダックジャパン (現ヘラクレス) に対抗する形で 1999 年 11 月に開設されました。上場株式数などの市場性条件や利益額などの収益額条件が東証二部より格段に緩く、成長を目指す新興企業、特にITベンチャーが“ITバブル”の波に乗って次々と上場を果たしました。

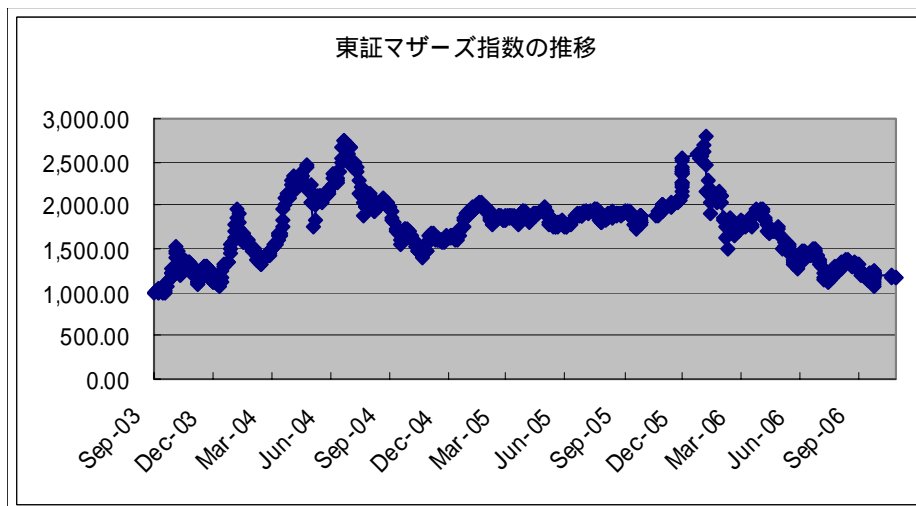
しかし成長性を重視し過ぎるあまり、財務の健全性・コンプライアンスに欠ける企業が多いのも事実です。粉飾決算によって上場廃止となったライブドア、反社会的勢力との蜜月の関係など不祥事が相次いだりキッドオーディオジャパン (現ニューディール) 前代未聞の会社乗っ取りを仕掛けられたクレイフィッシュ (現 e-まちタウン) など、世間を騒がせた企業は枚挙に暇がありません。

また、開設当時は実績作りのために必要条件である成長性ですら疑問のある企業も数多く上場させました。そのために後年、成長に伸び悩む企業が続出し、投資家からの信頼を損なう状態が続いています。

主な上場審査基準

	純資産額	時価総額	利益額	事業継続年数
マザーズ		10 億円以上		1 年以上
(参考) 東証二部	10 億円以上	20 億円以上	2 年前: 1 億円 直前期: 4 億円	3 年以上

若しくは、3 年前: 1 億円・直前期 4 億円かつ 3 年間合計 6 億円



参考：東証マザーズ <http://www.tse.or.jp/mothers/>